

第4章 地区別の現状と課題

第1節 地区別分析について

ここでは、4地区（佐原、小見川、山田、栗源）別の施設配置状況や人口動態から、地区別の現状と課題をみていきます。

対象施設は、用途別分析と同様に施設状況調査表が得られた214施設となっています。全施設の延床面積の合計は31.7万㎡（住民一人当たり3.9㎡/人）、築年数の平均は26.7年となっています。

地区別に施設数、延床面積をみると、いずれも佐原地区が最も多く113施設18万㎡、栗源地区が最も少なく19施設2.1万㎡となっています。一方で、一人当たりの延床面積は栗源地区が最も大きく4.48㎡/人、次に佐原地区4.19㎡/人となっています。施設の平均築年数は栗源地区が最も小さく22.9年となっており、最も大きい佐原地区で27.7年となっています。

本市の総人口は、1985年（昭和60年）に93,573人となって以降減少に転じ、2010年度（平成22年度）の国勢調査では82,866人と減少傾向が加速しています。香取市人口ビジョンによれば、現在の状況のまま推移した場合、30年後の2045年（平成57年）には60,241人と、2014年（平成22年）の74%程度まで落ち込むことが見込まれています。年齢別の割合をみると、生産年齢人口（15～64歳）が減少傾向にある一方、高齢者人口（65歳以上）は増加傾向となり2045年（平成57年）の高齢者人口の割合は35%前後を見込んでいます。年少人口（15歳未満）は、各種施策の効果により、30年後の2045年（平成57年）には14%程度を維持することが見込まれています。

表 地区別の施設保有状況

地区名	施設数	延床面積			経過年数
		合計値 (㎡)	一人当たり (㎡/人)	構成比 (%)	平均値 (年)
佐原地区	113	179,869.2	4.19	56.8%	27.7
小見川地区	50	75,498.6	3.19	23.8%	26.4
山田地区	32	40,391.7	4.03	12.8%	25.6
栗源地区	19	20,839.2	4.48	6.6%	22.9
全地区	214	316,598.6	3.90	100.0%	26.7

注）一人当たりの値を算出する際の人口値は2014年（平成26年）10月現在の住民基本台帳ベースの値を用いた。

表 用途分類別の施設保有状況

施設用途分類	施設数				延床面積(㎡)			
	佐原地区	小見川地区	山田地区	栗源地区	佐原地区	小見川地区	山田地区	栗源地区
市民文化系施設	7	2	2	1	7,038.3	6,091.1	3,363.9	2,473.0
社会教育系施設	4	3	1	1	2,963.0	1,058.4	113.9	85.0
スポーツ・レクリエーション系施設	9	3	6	5	25,986.9	5,873.9	2,902.9	3,547.5
産業系施設	1	0	0	1	3,786.0	0.0	0.0	817.5
学校教育系施設	16	7	6	2	69,567.2	40,329.7	25,392.0	9,328.0
子育て支援施設	12	5	1	1	8,399.8	3,029.1	752.2	755.5
保健・福祉施設	6	3	0	0	5,149.7	1,729.6	0.0	0.0
行政系施設	1	1	1	1	11,956.0	2,094.1	4,592.0	589.9
公営住宅	5	3	2	0	13,685.3	2,438.8	1,796.2	0.0
公園	9	3	2	2	104.6	191.6	127.1	69.3
供給処理施設	2	1	1	0	567.4	24.1	3.6	0.0
上水道施設	4	5	3	2	3,156.5	1,790.3	89.7	331.6
下水道施設	6	6	1	0	14,045.5	6,274.9	302.0	0.0
その他施設	31	8	6	3	13,463.1	4,573.0	956.3	2,841.9
合計	113	50	32	19	179,869.2	75,498.6	40,391.7	20,839.2

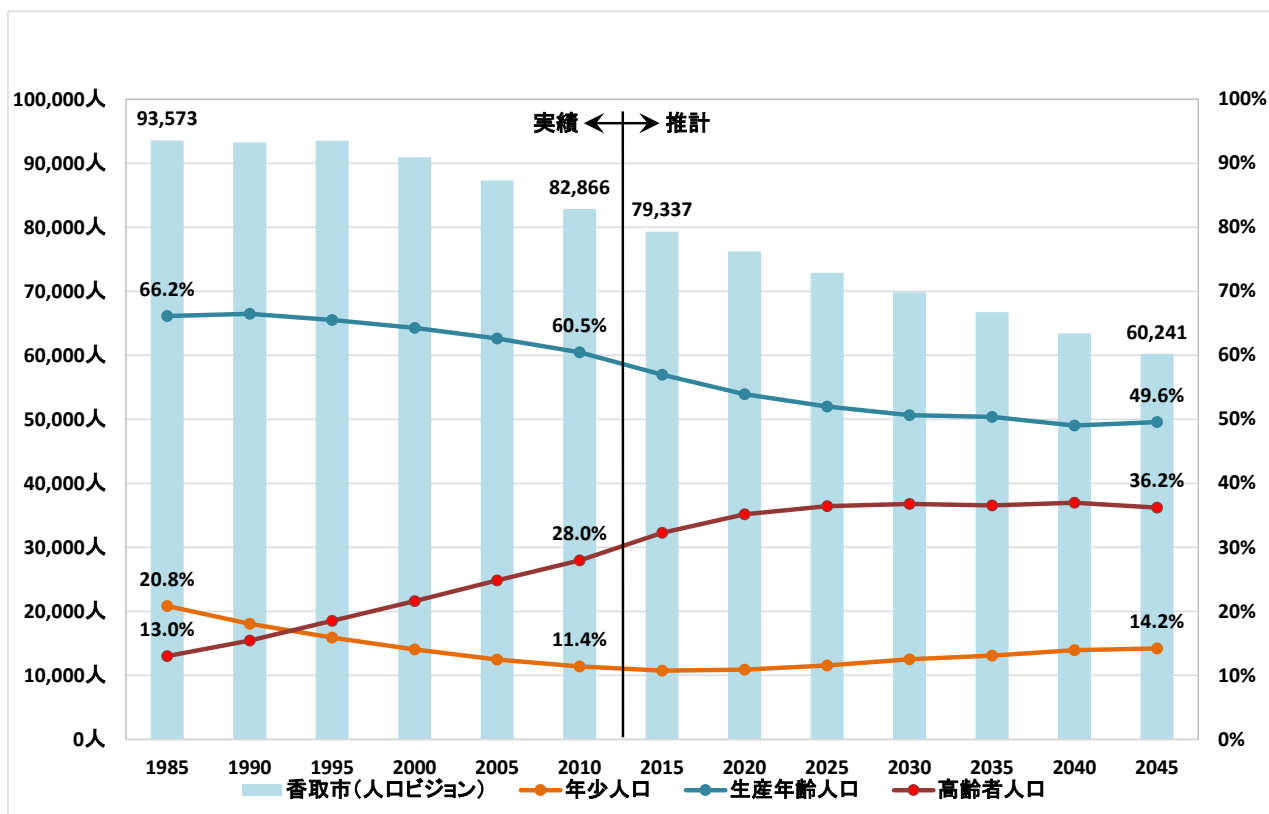
表 香取市の人口動態

香取市	実績値		推計値						
	2010年	2014年	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年
	平成22年	平成26年	平成27年	平成32年	平成37年	平成42年	平成47年	平成52年	平成57年
総人口	82,866	81,267	79,337	76,254	72,898	69,860	66,758	63,437	60,241
0～14歳人口	9,457	8,446	8,536	8,309	8,423	8,751	8,739	8,855	8,574
15～64歳人口	50,131	47,731	45,192	41,113	37,898	35,395	33,625	31,113	29,855
65歳以上人口	23,178	25,089	25,609	26,832	26,577	25,714	24,394	23,469	21,811
0～14歳割合	11.4%	10.4%	10.8%	10.9%	11.6%	12.5%	13.1%	14.0%	14.2%
15～64歳割合	60.5%	58.7%	57.0%	53.9%	52.0%	50.7%	50.4%	49.0%	49.6%
65歳以上割合	28.0%	30.9%	32.3%	35.2%	36.5%	36.8%	36.5%	37.0%	36.2%

注1) 実績(1985年(昭和60年)-2010年(平成22年))値の総人口には、年齢不詳者の人数を含む。

注2) 2010年(平成22年)の実績値は国勢調査ベース、2014年(平成26年)の実績値は住民基本台帳(2014年(平成26年)10月)ベース、2015年(平成27年)以降の推計値は、2005年度(平成17年度)と2010年度(平成22年度)の国勢調査から得られたコーホート変化率^{※13}を、香取市人口ビジョンの将来人口に当てはめ年齢階級ごとの人口を推定した値となっている。

図 人口の推移と将来人口(香取市全体)



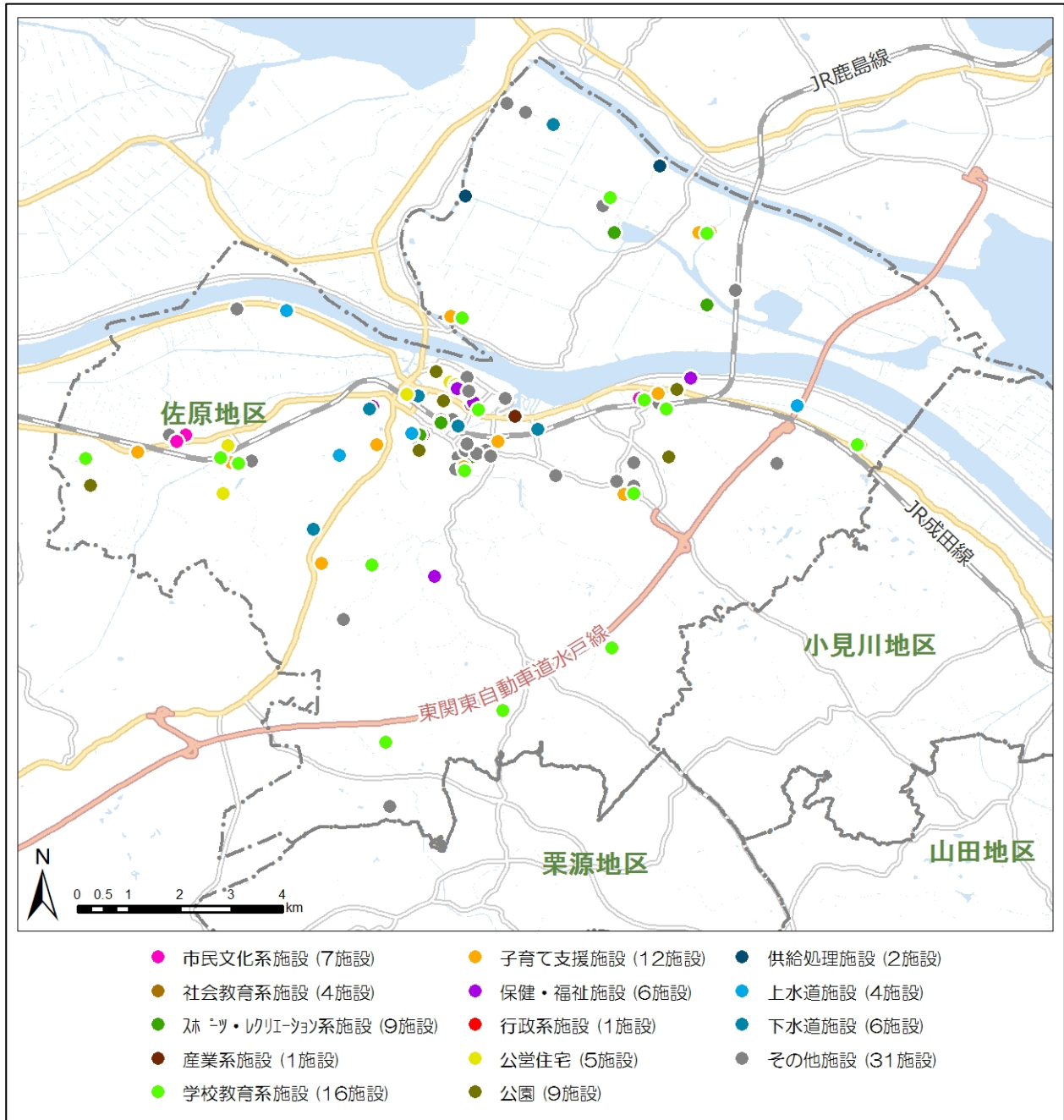
※13 コーホート変化率法：各コーホート(5歳階級別人口)について、過去の実績人口の動勢から変化率を求め、それが将来にわたって維持されるものと仮定して将来人口を推計する方法

第2節 佐原地区

(1) 施設配置状況

- ・ 佐原地区には、佐原駅周辺を中心に 113 施設が配置されています。
- ・ 佐原地区の人口は 42,961 人（2014 年度(平成 26 年度)）であり、市全体の約 53%を占めています。
- ・ 行政系施設をはじめとするほとんどの施設は地区全体に均等に配置されていますが、スポーツ・レクリエーション施設は地区北部に、市民文化系施設は地区中心部に多く配置されています。

図 佐原地区 施設配置状況



(2) 施設保有状況と人口動態からみる現状

- ・ 佐原地区の施設保有数は113施設、延床面積合計値は約18万㎡となっており、延床面積ベースで市全体の56.8%の施設が本地区に位置しています。
- ・ 佐原地区の人口は42,961人(2014年度(平成26年度))で、市全体の約53%を占めており、施設保有量と大きな乖離は見られません。
- ・ 住民一人当たりの延床面積は、4.19㎡/人となっており、市の平均(3.9㎡/人)よりもやや大きくなっています。
- ・ 平均築年数は約27.7年となっています。特に社会教育系施設、市民文化系施設、スポーツ・レクリエーション系施設において老朽化が進んでいます。
- ・ 2045年(平成57年)の人口推計値は31,180人で、2014年(平成26年)の72.6%(11,781人減)となることが予想されています。
- ・ 年齢階級別にみると、今後、年少人口は緩やかに減少していく傾向にあります。それに対して生産年齢人口は大幅な減少が見込まれています。また、2014年(平成26年)現在の高齢者人口(65歳以上)割合は30.5%となっており、2045年(平成57年)には36.8%になると見込まれ、高齢化が一層進むことが考えられます。

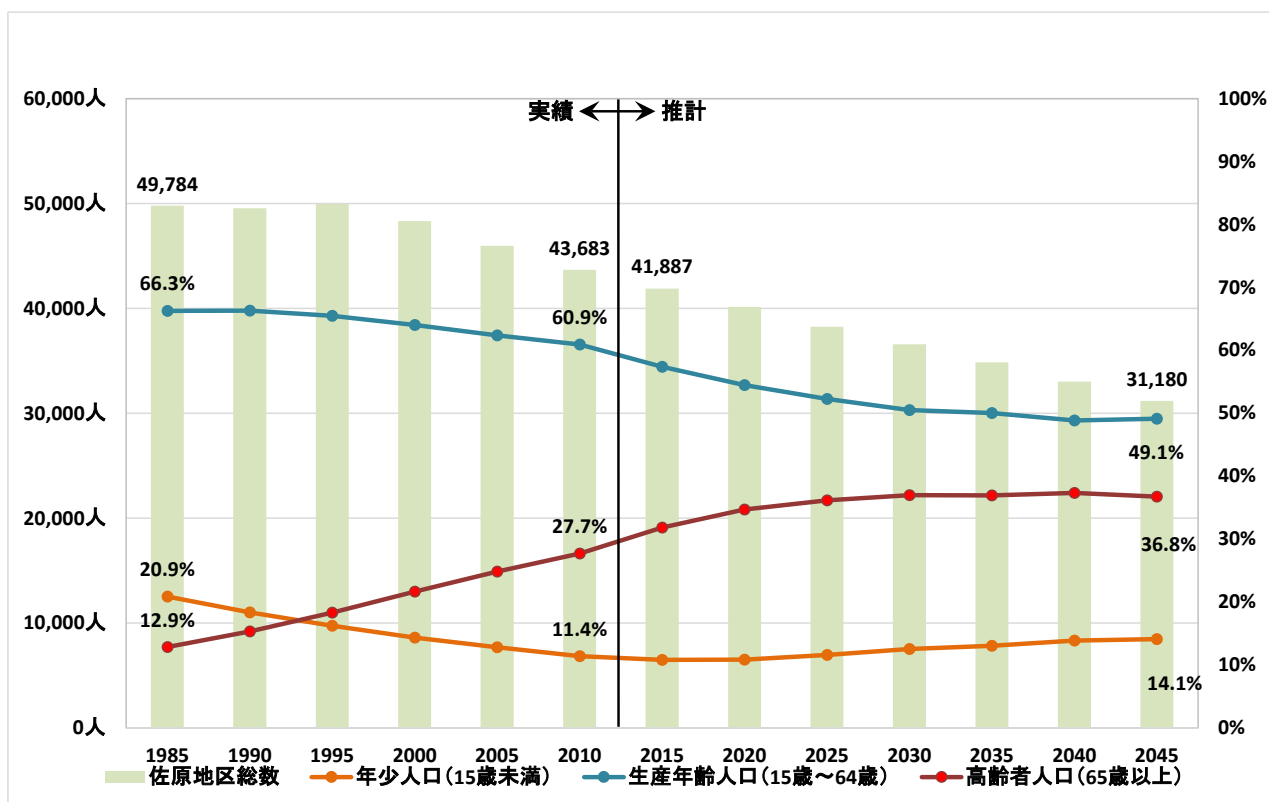
表 佐原地区の施設保有状況

施設用途分類	施設数	延床面積			経過年数
		合計値 (㎡)	一人当たり (㎡/人)	構成比 (%)	平均値 (年)
市民文化系施設	7	7,038.3	0.16	3.9%	35.4
社会教育系施設	4	2,963.0	0.07	1.6%	36.0
スポーツ・レクリエーション系施設	9	25,986.9	0.60	14.4%	31.0
産業系施設	1	3,786.0	0.09	2.1%	5.0
学校教育系施設	16	69,567.2	1.62	38.7%	29.9
子育て支援施設	12	8,399.8	0.20	4.7%	30.3
保健・福祉施設	6	5,149.7	0.12	2.9%	22.0
行政系施設	1	11,956.0	0.28	6.6%	18.0
公営住宅	5	13,685.3	0.32	7.6%	29.2
公園	9	104.6	0.00	0.1%	24.7
供給処理施設	2	567.4	0.01	0.3%	13.0
上水道施設	4	3,156.5	0.07	1.8%	30.3
下水道施設	6	14,045.5	0.33	7.8%	25.5
その他施設	31	13,463.1	0.31	7.5%	25.9
全用途合計	113	179,869.2	4.19	100.0%	27.7

表 佐原地区の人口動態

佐原地区	実績値		推計値						
	2010年	2014年	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年
	平成22年	平成26年	平成27年	平成32年	平成37年	平成42年	平成47年	平成52年	平成57年
総人口	43,683	42,961	41,887	40,136	38,257	36,575	34,860	33,013	31,180
0～14歳人口	4,971	4,483	4,517	4,356	4,428	4,576	4,544	4,571	4,397
15～64歳人口	26,615	25,390	24,043	21,861	19,996	18,472	17,441	16,122	15,322
65歳以上人口	12,097	13,087	13,327	13,919	13,834	13,527	12,875	12,320	11,461
0～14歳割合	11.4%	10.4%	10.8%	10.9%	11.6%	12.5%	13.0%	13.8%	14.1%
15～64歳割合	60.9%	59.1%	57.4%	54.5%	52.3%	50.5%	50.0%	48.8%	49.1%
65歳以上割合	27.7%	30.5%	31.8%	34.7%	36.2%	37.0%	36.9%	37.3%	36.8%

図 人口の推移と将来人口（佐原地区）



注) 実績（1985-2010）の人口については、年齢不詳者の人数を含んでいない。

(3) 今後の課題と方針

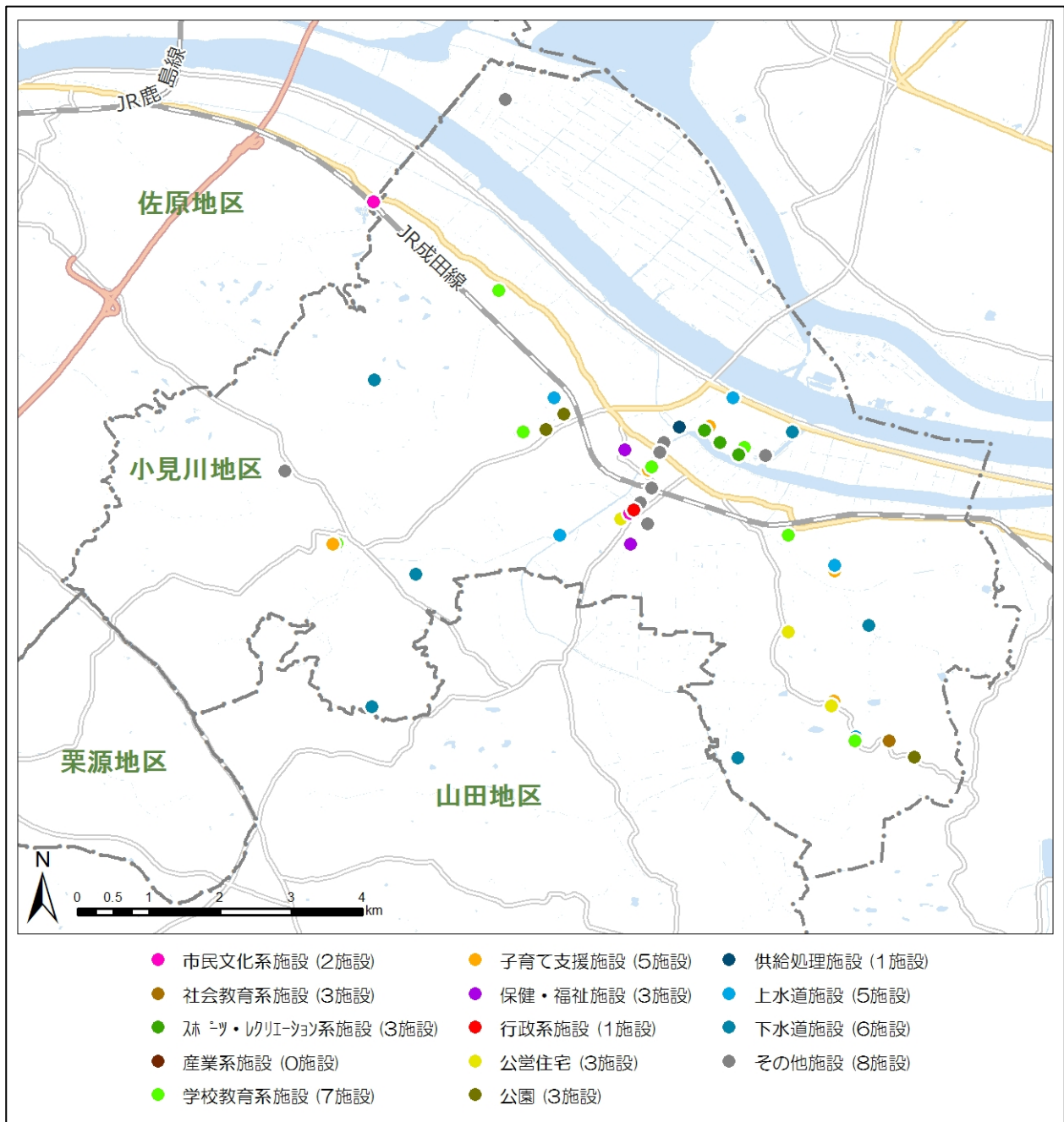
佐原地区は本市の中で最も人口が多い地区であり、将来の人口減少人数も最大となると見込まれています。現在の施設保有量も最大であるため、施設保有量の適性化に大きな困難を伴うと予想されます。さらに生産年齢人口の減少と高齢化進行に伴い、行政サービスに対する市民のニーズも変化していくことも予想されるため、施設保有量の縮減に加えて用途の調整が必要となります。用途が重複する施設や利用率の低い施設などは市民のニーズや利用実態を考慮したうえで縮減や民間への売却等を積極的に行い、変化する市民のニーズに対応するため施設の集約や複合化、再配置を検討していきます。

第3節 小見川地区

(1) 施設配置状況

- ・小見川地区には、小見川駅を中心に 50 施設が配置されています。
- ・小見川地区の人口は 23,634 人(2014 年度(平成 26 年度))であり、市全体の約 29%を占めています。
- ・スポーツ・レクリエーション施設が黒部川付近に集中して配置されています。また、小見川駅付近には、支所、図書館、多目的ホールなどが含まれる複合的な施設として、2012 年度(平成 24 年度)にオープンした、小見川市民センターいぶき館が配置されています。

図 小見川地区 施設配置状況



(2) 施設保有状況と人口動態からみる現状

- ・小見川地区の施設保有数は50施設、延床面積合計値は7.5万㎡となっており、延床面積ベースで市全体の23.8%の施設が本地区に位置しています。
- ・小見川地区の人口は23,634人（2014年度（平成26年度））であり、市全体の約29%となっていることから、人口比と施設保有量比の間に大きな乖離はみられません。
- ・住民一人当たりの延床面積は、3.19㎡/人となっており、市の平均（3.86㎡/人）よりも少なくなっています。
- ・平均築年数は26.4年となっています。上水道施設、公営住宅、学校教育系施設で30年を超えており、老朽化が進んでいます。
- ・2045年（平成57年）の人口推計値は18,820人で、2014年（平成26年）の79.6%（4,814人減）となることが予想されており、4地区の中では最も低い減少率となっています。
- ・年齢階級別にみると、年少人口数に大きな変化が無いものの、生産年齢人口が減少していくことが見込まれています。高齢者人口は2020年まで増加を続け、その後減少していきます。2014年（平成26年）現在の高齢者人口（65歳以上）割合は30.8%で、2045年（平成57年）には33.8%となり高齢化が一層進むと見込まれます。

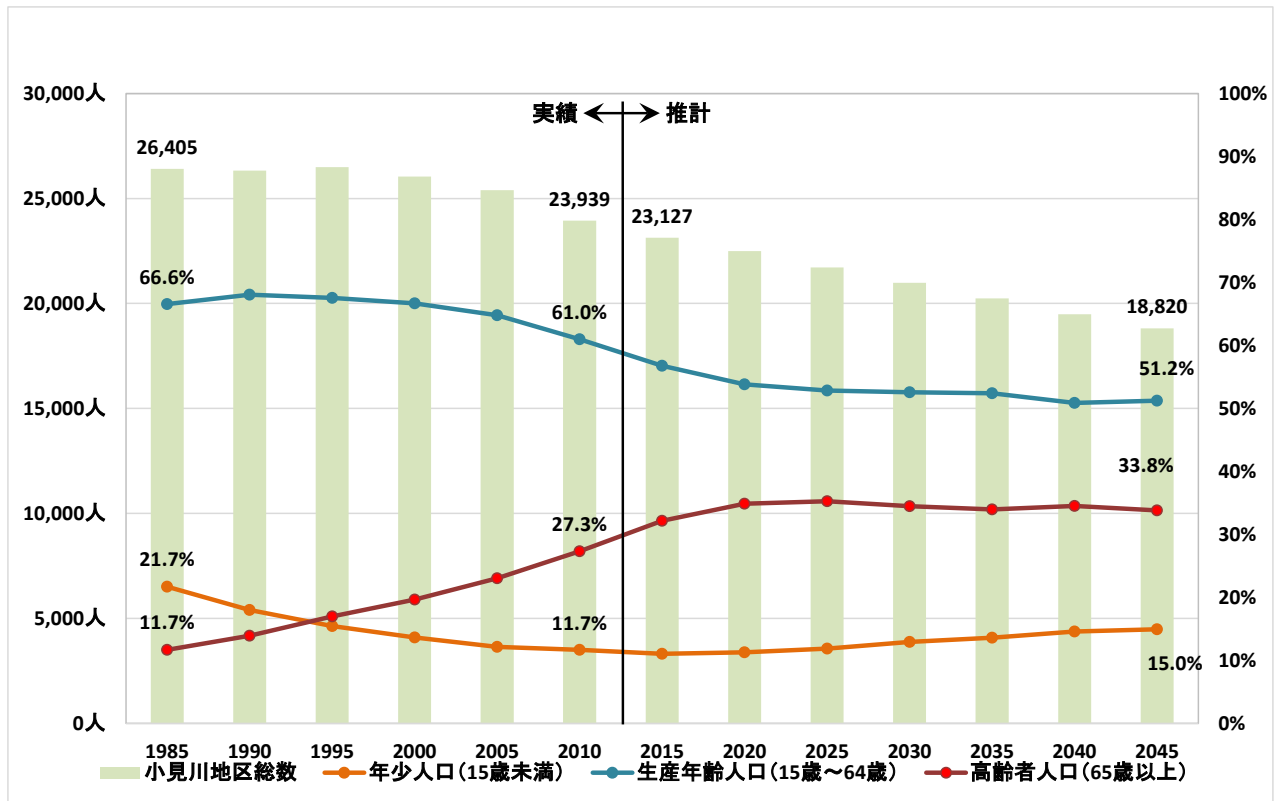
表 小見川地区の施設保有状況

施設用途分類	施設数	延床面積			経過年数
		合計値	一人当たり	構成比	平均値
		(㎡)	(㎡/人)	(%)	(年)
市民文化系施設	2	6,091.1	0.26	8.1%	12.0
社会教育系施設	3	1,058.4	0.04	1.4%	19.7
スポーツ・レクリエーション系施設	3	5,873.9	0.25	7.8%	22.0
産業系施設	0	0.0	0.00	0.0%	-
学校教育系施設	7	40,329.7	1.71	53.3%	33.6
子育て支援施設	5	3,029.1	0.13	4.0%	27.8
保健・福祉施設	3	1,729.6	0.07	2.3%	21.3
行政系施設	1	2,094.1	0.09	2.8%	23.0
公営住宅	3	2,438.8	0.10	3.2%	37.7
公園	3	191.6	0.01	0.3%	28.7
供給処理施設	1	24.1	0.00	0.0%	20.0
上水道施設	5	1,790.3	0.08	2.4%	34.4
下水道施設	6	6,274.9	0.27	8.3%	17.5
その他施設	8	4,573.0	0.19	6.1%	22.6
全用途合計	50	75,498.6	3.19	100.0%	26.4

表 小見川地区の人口動態

小見川地区	実績値		推計値						
	2010年	2014年	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年
	平成22年	平成26年	平成27年	平成32年	平成37年	平成42年	平成47年	平成52年	平成57年
総人口	23,939	23,634	23,127	22,491	21,719	20,979	20,240	19,490	18,820
0～14歳人口	2,794	2,520	2,557	2,539	2,582	2,717	2,758	2,846	2,815
15～64歳人口	14,600	13,838	13,127	12,103	11,474	11,027	10,609	9,917	9,641
65歳以上人口	6,545	7,276	7,442	7,848	7,663	7,234	6,873	6,727	6,364
0～14歳割合	11.7%	10.7%	11.1%	11.3%	11.9%	13.0%	13.6%	14.6%	15.0%
15～64歳割合	61.0%	58.6%	56.8%	53.8%	52.8%	52.6%	52.4%	50.9%	51.2%
65歳以上割合	27.3%	30.8%	32.2%	34.9%	35.3%	34.5%	34.0%	34.5%	33.8%

図 人口の推移と将来人口（小見川地区）



注) 実績 (1985-2010) の人口については、年齢不詳者の人数を含んでいない

(3) 今後の課題と方針

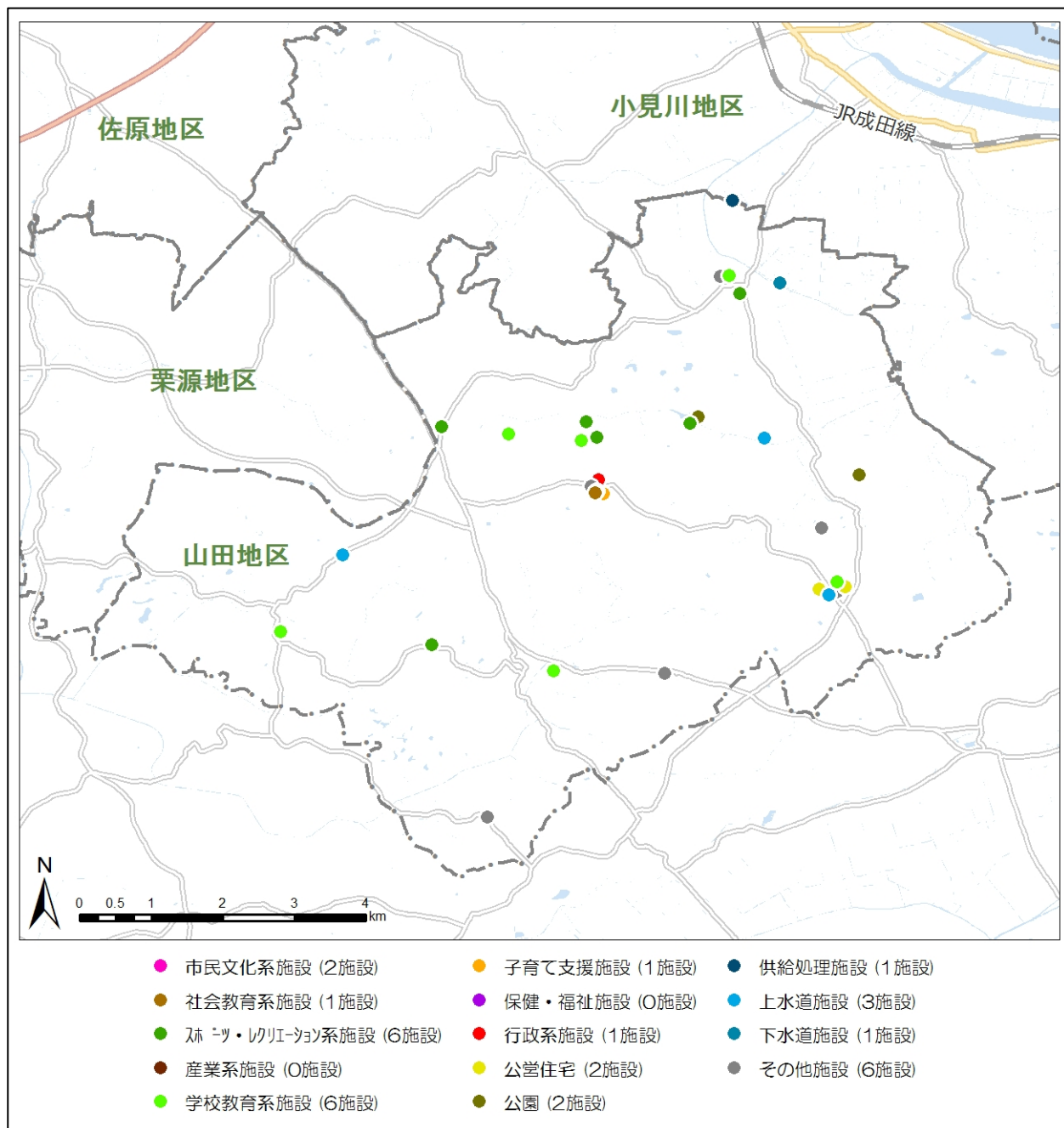
小見川地区は本市の中で2014年(平成26年)現在、2番目に人口が多い地区ですが、他の地区と比較すると、2045年(平成57年)の将来の人口減少率が最小、高齢化率も最低値となることが見込まれています。現在の市民一人当たりの施設保有量は市の平均よりも若干小さくなっており、他地区と比較すると今後の施設保有量の適性化が行いやすい状況にあるといえます。しかし、2045年(平成57年)の人口は、2014年(平成26年)比で約20%減となっており、人口規模としては4/5となります。また高齢化が進行し3人に1人が高齢者となると予想されています。今後は、人口動態や利用実態を考慮したうえで施設保有量の縮減を進め、効率的な維持管理を行っていくことで行政サービスの水準を維持していきます。

第4節 山田地区

(1) 施設配置状況

- ・ 山田地区には 32 施設が配置されています。
- ・ 山田地区の人口は 10,021 人（2014 年度(平成 26 年度)）であり、市全体の約 12%を占めています。
- ・ スポーツ・レクリエーション施設が比較的多く、市内のスポーツ・レクリエーション施設の約 26%にあたる 6 施設が存在します。

図 山田地区 施設配置状況



(2) 施設保有状況と人口動態からみる現状

- ・山田地区の施設保有数は32施設、延床面積合計値は約4万㎡となっており、延床面積ベースで市全体の12.8%の施設が本地区に位置しています。
- ・山田地区の人口10,021人(2014年度(平成26年度))であり、市全体の約12%となっていることから、人口比と施設保有量の間には大きな乖離はみられません。
- ・住民一人当たりの延床面積は、4.03㎡/人となっており、市の平均(3.9㎡/人)よりもやや大きくなっています。
- ・平均築年数は約25.6年となっています。上水道施設、学校教育系施設、子育て支援施設で30年を超えています。
- ・2045年(平成57年)の人口推計値は7,113人で、2014年(平成26年)の71%(2,908人減)となることが予想されており、4地区の中で2番目に高い減少率となっています。
- ・年齢階級別にみると、生産年齢人口の大幅な減少が目立ちます。高齢者人口は2025年(平成37年)まで増加を続け、その後減少していきます。総人口も減少するため高齢者人口(65歳以上)割合は2040年(平成52年)に40%になることが見込まれます。

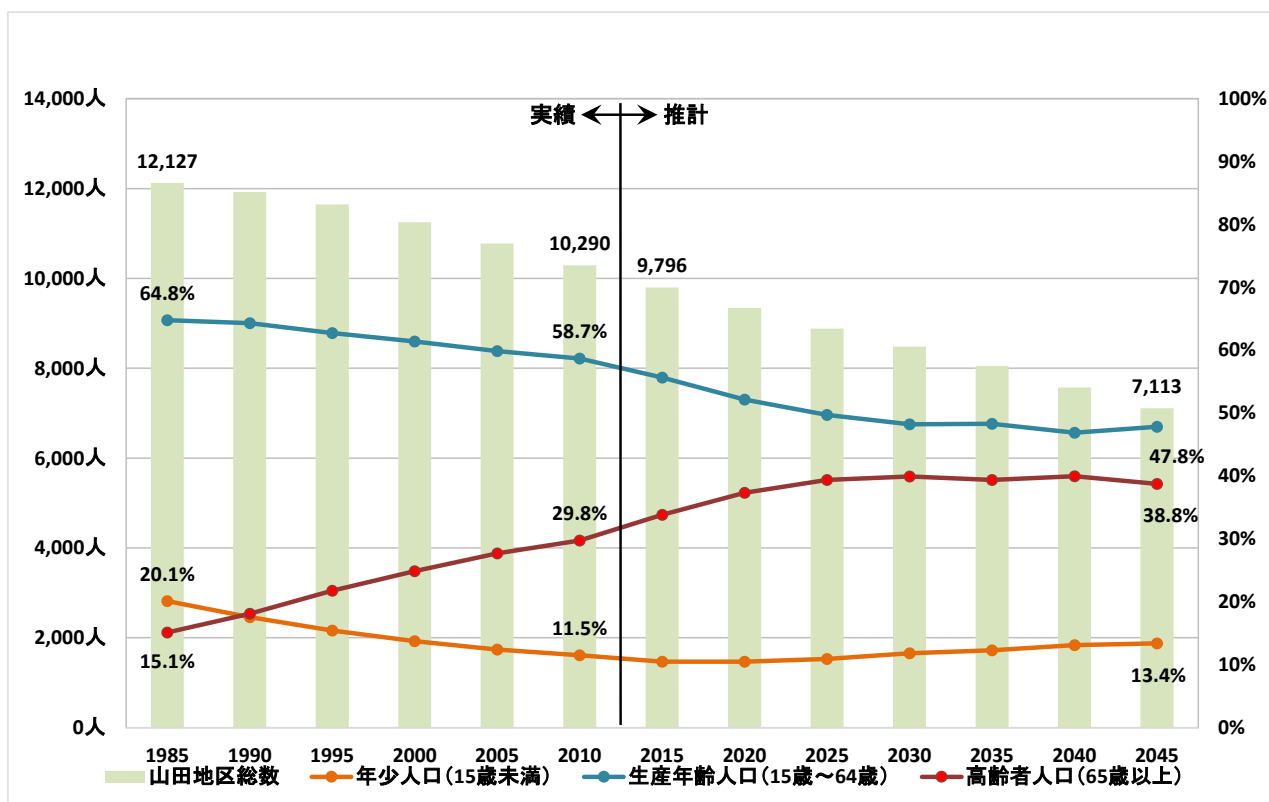
表 山田地区の施設保有状況

施設用途分類	施設数	延床面積			経過年数
		合計値	一人当たり	構成比	平均値
		(㎡)	(㎡/人)	(%)	(年)
市民文化系施設	2	3,363.9	0.34	8.3%	23.0
社会教育系施設	1	113.9	0.01	0.3%	23.0
スポーツ・レクリエーション系施設	6	2,902.9	0.29	7.2%	22.0
産業系施設	0	0.0	0.00	0.0%	-
学校教育系施設	6	25,392.0	2.53	62.9%	30.5
子育て支援施設	1	752.2	0.08	1.9%	30.0
保健・福祉施設	0	0.0	0.00	0.0%	-
行政系施設	1	4,592.0	0.46	11.4%	13.0
公営住宅	2	1,796.2	0.18	4.4%	29.5
公園	2	127.1	0.01	0.3%	18.0
供給処理施設	1	3.6	0.00	0.0%	26.0
上水道施設	3	89.7	0.01	0.2%	36.0
下水道施設	1	302.0	0.03	0.7%	-
その他施設	6	956.3	0.10	2.4%	21.2
全用途合計	32	40,391.7	4.03	100.0%	25.6

表 山田地区の人口動態

山田地区	実績値		推計値						
	2010年	2014年	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年
	平成22年	平成26年	平成27年	平成32年	平成37年	平成42年	平成47年	平成52年	平成57年
総人口	10,290	10,021	9,796	9,344	8,882	8,480	8,050	7,570	7,113
0～14歳人口	1,186	1,013	1,026	980	969	1,004	989	993	952
15～64歳人口	6,041	5,777	5,454	4,876	4,415	4,090	3,889	3,550	3,403
65歳以上人口	3,063	3,231	3,315	3,489	3,498	3,386	3,172	3,027	2,758
0～14歳割合	11.5%	10.1%	10.5%	10.5%	10.9%	11.8%	12.3%	13.1%	13.4%
15～64歳割合	58.7%	57.6%	55.7%	52.2%	49.7%	48.2%	48.3%	46.9%	47.8%
65歳以上割合	29.8%	32.2%	33.8%	37.3%	39.4%	39.9%	39.4%	40.0%	38.8%

図 人口の推移と将来人口（山田地区）



注) 実績 (1985-2010) の人口については、年齢不詳者の人数を含んでいない。

(3) 今後の課題と方針

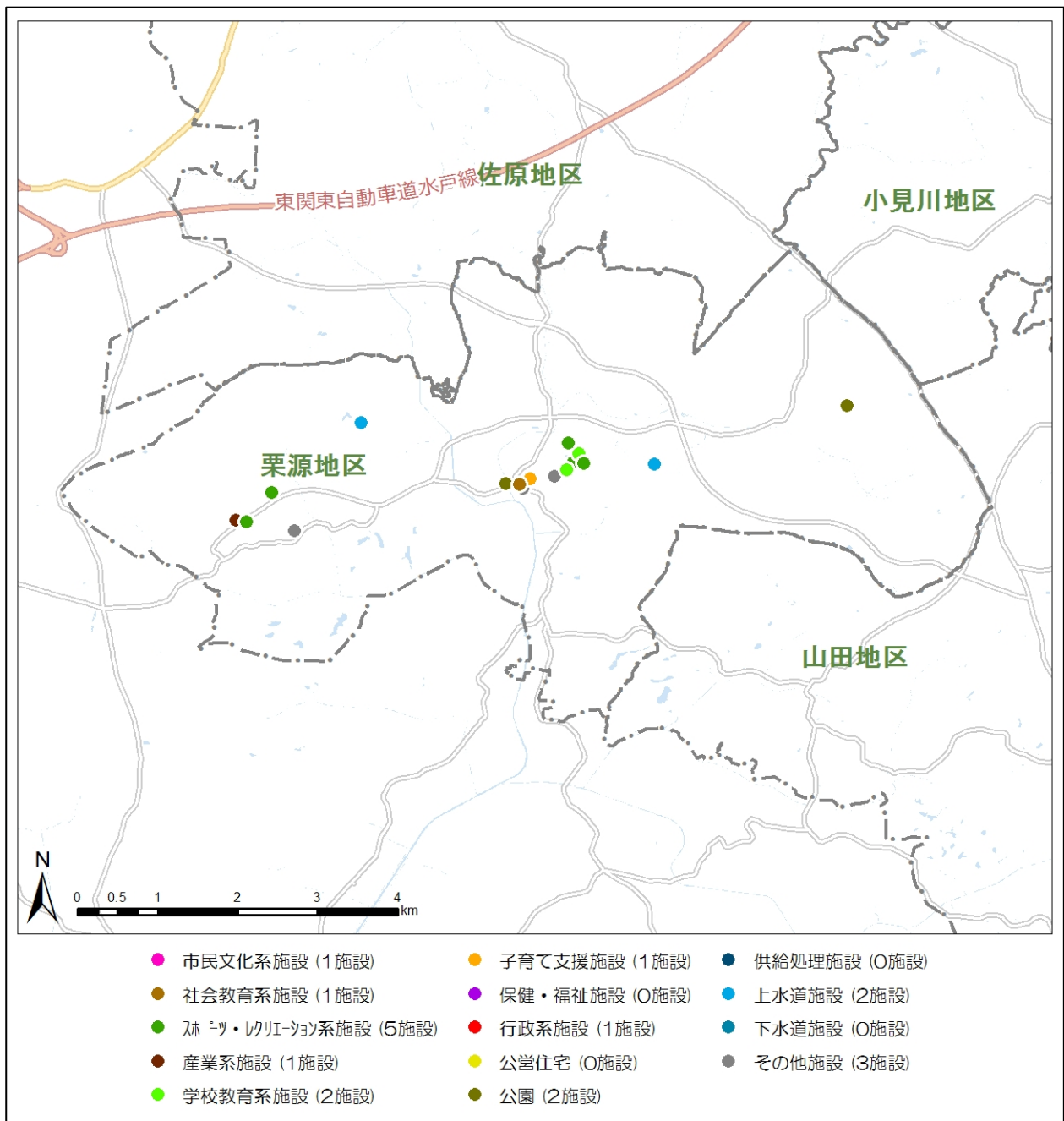
山田地区の人口は、今後単調に減少することが見込まれています。また2040年（平成52年）には高齢化率が40%になることが見込まれており人口高齢化が深刻な問題となります。今後は、現在地区内に存在しない保健・福祉施設の必要性が高まると考えられることから、施設保有量の適正化を行いつつ、人口実態に応じた施設の用途変更、複合化などを推進していきます。

第5節 栗源地区

(1) 施設配置状況

- ・ 栗源地区には 19 施設が配置されています。
- ・ 栗源地区の人口は 4,651 人（2014 年度(平成 26 年度)）であり、市全体の約 6%を占めています。
- ・ スポーツ・レクリエーション施設が比較的多く、市内のスポーツ・レクリエーション施設の約 22%にあたる 5 施設が存在します。
- ・ 産業系施設として、都市と農村の交流拠点を目指し地元農産物の販売や収穫体験ができる道の駅くりもと 紅小町の郷が配置されています。

図 栗源地区 施設配置状況



(2) 施設保有状況と人口動態からみる現状

- ・栗源地区の施設保有数は19施設、延床面積合計値は2.1万㎡となっており、延床面積ベースで市全体の6.6%の施設が本地区に位置しています。
- ・栗源地区の人口は4,651人(2014年度(平成26年度))であり、市全体の約6%となっており、人口比と施設保有量比の間に大きな乖離はみられません。
- ・住民一人当たりの延床面積は、4.48㎡/人となっており、市の平均(3.9㎡/人)よりもやや大きくなっています。
- ・平均築年数は約22.9年となっており、市の平均と比較し新しい施設が若干多いといえます。しかし、学校教育系施設、子育て支援施設で30年を超えており老朽化が進んでいる施設も存在します。
- ・2045年(平成57年)の人口推計値は3,127人で、2014年(平成26年)の67.2%(1,524人減)となることが予想されており、4地区の中で最も高い減少率となっています。
- ・年齢階級別にみると、2045年(平成57年)の生産年齢人口が2014年(平成26年)の約半分になるなど大幅な減少が目立ちます。年少人口は緩やかに減少していきます。高齢者人口は2025年(平成37年)まで増加を続け、その後減少していきます。高齢者人口(65歳以上)割合は2030年(平成42年)に40%を超え、2040年(平成52年)に41.5%になることが見込まれています。

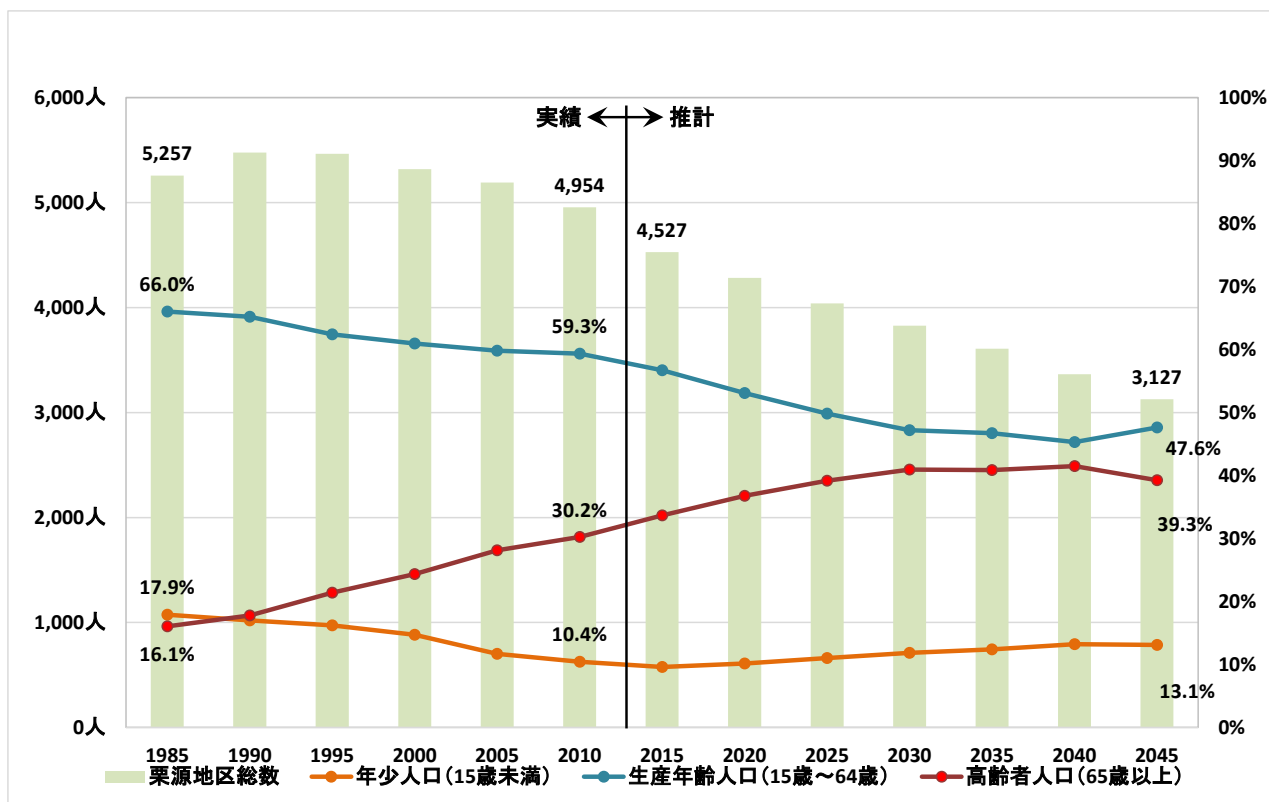
表 栗源地区の施設保有状況

施設用途分類	施設数	延床面積			経過年数
		合計値	一人当たり	構成比	平均値
		(㎡)	(㎡/人)	(%)	(年)
市民文化系施設	1	2,473.0	0.53	11.9%	28.0
社会教育系施設	1	85.0	0.02	0.4%	28.0
スポーツ・レクリエーション系施設	5	3,547.5	0.76	17.0%	16.2
産業系施設	1	817.5	0.18	3.9%	12.0
学校教育系施設	2	9,328.0	2.01	44.9%	34.0
子育て支援施設	1	755.5	0.16	3.6%	37.0
保健・福祉施設	0	0.0	0.00	0.0%	-
行政系施設	1	589.9	0.13	2.8%	28.0
公営住宅	0	0.0	0.00	0.0%	-
公園	2	69.3	0.01	0.3%	18.0
供給処理施設	0	0.0	0.00	0.0%	-
上水道施設	2	331.6	0.07	1.6%	23.0
下水道施設	0	0.0	0.00	0.0%	-
その他施設	3	2,841.9	0.61	13.6%	23.7
全用途合計	19	20,839.2	4.48	100.0%	22.9

表 栗源地区の人口動態

栗源地区	実績値		推計値						
	2010年	2014年	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年
	平成22年	平成26年	平成27年	平成32年	平成37年	平成42年	平成47年	平成52年	平成57年
総人口	4,954	4,651	4,527	4,283	4,040	3,826	3,609	3,364	3,127
0～14歳人口	517	430	436	434	445	454	448	444	410
15～64歳人口	2,939	2,726	2,568	2,273	2,013	1,806	1,686	1,524	1,489
65歳以上人口	1,498	1,495	1,524	1,576	1,582	1,567	1,475	1,396	1,228
0～14歳割合	10.4%	9.2%	9.6%	10.1%	11.0%	11.9%	12.4%	13.2%	13.1%
15～64歳割合	59.3%	58.6%	56.7%	53.1%	49.8%	47.2%	46.7%	45.3%	47.6%
65歳以上割合	30.2%	32.1%	33.7%	36.8%	39.2%	40.9%	40.9%	41.5%	39.3%

図 人口の推移と将来人口（栗源地区）



注) 実績（1985-2010）の人口については、年齢不詳者の人数を含んでいない。

（3） 今後の課題と方針

栗源地区の人口は、今後単調に減少することが見込まれています。人口総数自体が非常に小さくなるため、行政サービスを維持していくことが大きな課題になると考えられます。また2040年（平成52年）には高齢化率が41.5%になることが見込まれており人口高齢化が深刻な問題となります。今後は、人口実態に応じた施設の集約や複合化により施設保有量の適正化を行いつつ、管理運営方法の見直しによる施設運営コストの軽減などで行政サービスの維持を行っていきます。